

エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

平成 29年 10月 31日

環境大臣 中川 雅治 殿

ワタミ株式会社

代表取締役社長 清水 邦晃

ワタミ株式会社は、地球で事業活動(外食、食品製造・卸、高齢者向け宅配、農業、環境エネルギー)を営む企業の社会的責務を踏まえ、法令順守を徹底するとともに、環境負荷の軽減を通じ積極的に社会貢献をするため、以下の取組を進めてまいります。

ワタミグループは、環境宣言 2008『美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく』に基づき、環境方針 W-ECO ビジョン 2020 『グループ CO2 排出量を 2020 年までに 50%削減(2008 年度比、原単位・売上高当り)』の達成を目指します。(下記、①、②、③、④合計)

1・事業活動における環境負荷を低減します(CO2削減)

- 2020年度までに次のCO2削減目標を達成します。
 - ムダ電気の削減、LED等の高効率機器導入促進によって、外食事業並びに宅食事業でのCO2排出量を2008年度比、原単位(売上高当り)で15%削減します。①
 - 外食事業の既存店舗でのCO2排出量を2008年度比、総量で15%削減します。
 - 再生可能エネルギーの普及を目指し、原単位 25%削減相当の再生可能エネルギー事業に関与していきます(事業主体、FIT電源としての活用等)。②
 - 削減目標達成のため、主要事業で認証を取得している環境ISO14001を強化し、日常の環境負荷低減に努めます。

2・循環型社会構築のため、環境改善事業を強化します(3Rの推進)

- 外食および食品製造・卸事業での食品廃棄物(生ゴミ)のリサイクルに努めます。
 - 循環型地域モデルを2020年度までに3つの地域で構築し実施します。(埼玉県地域、東京都・千葉県地域、大分県臼杵市)
 - 食品リサイクルを強化し、2020年度までに外食および食品製造・卸事業の合計の再生利用等実施率60%を達成します。
 - 廃棄物の発生抑制に努めると共に、食品ロス削減に取り組みます。
- 安全・安心な循環型社会構築のため、有機農業の普及に努め、管理農地面積を2020年度までに400haへ拡大し、外食事業の有機・特別栽培食材比率を50%にします。(CO2原単位約5%削減効果)③
- 命の源でありCO2の吸収源でもある森林再生事業に取り組み、管理森林面積を2020年度までに1000haへ拡大します。(CO2原単位約10%削減効果)④

3・グループ社員の環境意識を向上させ、日々の環境改善を推進します(社員の行動)

- グループが関与する再生可能エネルギー電源(FIT電源)を活用したグループ電力会社から社員に電力を供給することによって働きかけ、グループ会社の社員の生活における環境意識向上を目指します。

4・森林保全などの環境活動に取り組む地域やNPO活動を応援します。

- 環境教育や森林保全に取り組むため、「ワタミの森」の活動を促進すると共に、環境・森林保全活動に取り組む公益団体(NPO法人等)を応援します。
- 小学生を対象として実施している北海道わたりみ自然学校を通して、将来を担う子どもたちへの環境教育に努めます。